輝く２人が対談 まちで噂の人気者 Part17

観光の窓口

瀬戸　静枝さん（72）

下野町在住。平成元年から、町並み保存地区のガイドを務め、現在竹原観光ガイド会会長。お茶と長唄が趣味のベテランさん。

大好きな「わがまち竹原」だから

市橋　貴江さん（37）

塩町在住。平成24年４月から「道の駅たけはら」でイベントなどを企画する。２人の娘をもつ、頑張り屋のお母さん。

―竹原の観光の目玉「町並み保存地区」と、４月にリニューアルオープンした「道の駅たけはら」。最近、メディアにもよく取り上げられていますね。

市橋　そうですね。テレビの影響はとても大きくて、４～６月は本当に忙しかったです。

瀬戸　町並み保存地区も、お客さんがかなり増えましたよ。最近、若者や家族連れがすごく多くなったと感じています。アニメ「たまゆら」の影響も大きいですね。

―観光に訪れた人々に、竹原の魅力を伝えるお二人の仕事。やりがいを感じるのは、どんな時ですか。

瀬戸　「ガイドしてもらって、町並みがもっと好きになりました」と言ってもらえたときですかね。あと、お客さんに偶然再会した時に声をかけてもらったときは嬉しいです。

市橋　わかります。「この間の商品、また買いに来たんよ～」と言ってくれると、本当に良かったと思います。竹原の魅力がたくさんつまっている商品を褒めてもらえると、やっぱり嬉しい。

瀬戸　そうね。せっかく来られたんだから、最大限にＰＲしたいですよね。

―ずばり、竹原の好きなところは？

瀬戸　全国で19番目に伝統的建造物群保存地区に指定された町並み保存地区の、江戸時代からのメインストリートですね。６月には歴史的風致維持向上計画にも認定され、誇りに思います。

市橋　私も、町並みをふと歩きたくなることがあります。今度は瀬戸さんの説明を聞きながら歩きたいな。あと、私はもともと忠海町出身なので、竹原の海も大好きです。

―では、瀬戸さんから市橋さんへ何かアドバイスはありますか。

瀬戸　一期一会。出会いを大切にすることですかね。良い印象で帰っていただくのが一番です。

市橋　はい。竹原の窓口として、「来ていただいている」という意識を常にもってお客様に接するように心がけています。

瀬戸　まさに、「わがまち竹原」！

市橋　そう！竹原が大好きだからできる仕事。たくさんの人に来ていただきたいですね。

かぐやパンダ通信 ～やりました！ゆるキャラNO.１～

６月～７月にかけて投票が行われたプレスネット企画の「ゆるい？選手権」で、かぐやパンダがみごと１位となりました！竹原市・東広島市のゆるキャラＮＯ.１に選ばれたということで、かぐやパンダも大喜び。

７月７日に開催された七夕まつりで、竹原市障害者自立支援協議会の井口会長とかぐやパンダに勝利のトロフィーが贈呈されました。

障害のある人もない人も安心して暮らせるまちを目指して、これからもかぐやパンダはのほほんと頑張ります。応援、よろしくお願いします！

人のうごき

（住民基本台帳登録者数）

人口	２８，６６２人
男	１３，５６７人
女	１５，０９５人
	１２，８３８世帯
１年前	２９，０３０人
５年前	３０，６３０人

－７月１日現在－

ティータイム

いよいよ夏本番！先日、友人達と花火をしました。花火が放つ柔らかい光には、本当に癒されます。竹原の花火大会は、８月25日(土)。待ち遠しいですね。（と）

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便　〒725-8666（住所不要）竹原市企画政策課「市長への私の提案」係 FAX　22-0998 ※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

発行／広島県竹原市企画政策課　☎(0846)22-0942　FAX(0846)22-0998
竹原市ホームページ http:www.city.takehara.lg.jp
（この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。）